

CONTENTS

KANAGAWA PREFECTURAL MUSEUM
OF NATURAL HISTORY

神奈川県立
生命の星・地球博物館

展示解説書

ごあいさつ	
展示協力者	1
展示室案内図	2
エントランスホール	4
タイムスケール	6
生命の星の条件	8

地球を考えるー固体地球の営みー

I 地球誕生	15
いん石のいろいろ	16
さまざまなクレーター	18
クレーターの形成	20
微惑星の衝突が地球をつくる	22
地球初期のすがた	24
最初の海と陸	26
II 地球の仕組	29
地球の熱放出の現場	30
熱放出のメカニズム	32
プレートテクトニクス	34
地球の営みがつくった景観と岩石	36
III 生命が変えていく地球	41
最古の生命化石	42
生命が大気環境を変えた	43
生命あふれる地球	46

生命を考えるー地球生命の営みー

I 地球が生んだ多様な生物種	55
陸上への適応	56
陸上植物の系統	58
魚類の世界	60
恐竜の時代	62
恐竜から哺乳類へ	64
鳥類の世界	66
再び海へ	68
ゾウの進化	70
森の開拓者・霊長類	72
被子植物の世界	74
昆虫の世界	76
地球環境に広がる生命	80
II 多様性をもたらしたもの	83
生き物とDNA	84
多様性が生まれるしくみ	86
生き物どうしの関わり	89





神奈川の自然を考える—神奈川の大地と生物—

I	神奈川の大地のおいたち	95
	大地のおいたち	96
	神奈川の最古の地層	101
	丹沢の海の時代	102
	丹沢の衝突・伊豆の衝突	104
	第四紀の環境変遷	106
	活発な火山活動	108
	縄文の海と森	110
II	相模湾に生きる	113
	貝化石が語る相模の海	114
	相模湾の生きている化石	116
	相模湾に生きる多様な生き物たち	117
III	神奈川の大地に生きる	121
	化石からのメッセージ	122
	氷河時代と生物の移動	124
	氷河時代を生き抜いたブナ帯の動植物	126
	神奈川県を特徴づける生物	128
IV	人と自然のかかわり	133
	失われていく生き物たち	134
	人の営みとギフチョウの盛衰	136
	雑木林の生き物たち	138
	水田から林へ	140
	都市に残ったもの	142
	都市に進出してきた生き物たち	144
	外国からやってきた生き物たち	146
	「神奈川」はいま	148

自然との共生を考える—人類の現在と未来—

I	地球の環境	155
	さまざまな地球環境に生きる	156
	生物どうしのつながり	158
	地球圏システム	160
II	地球と人類	163
	私たちはどこから来たの	164
	人類がしていること	166
	地球はいま	168
	人類のあした	170
	地球の未来	172
III	地球と生命	175
	地球と生命—共に生きる—	176